

令和6年度 第1回 舞阪中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月13日（月） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 舞阪中学校 1階 会議室
- 3 出席委員 渡邊 東一、鈴木 孝一、江間 雅尾、河合 數馬、小内 正枝、片桐 美恵子、菅沼 洋美
- 4 欠席委員 佐々木 雄一
- 5 オブザーバー 河合 一徳（舞阪支所副支所長）
- 6 学 校 中村 真由美（校長）、松下 宏幸（教頭）、鈴木 朱美（教務主任）、大谷 建（生徒指導主事）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田岡 忍
- 9 議長の選出

議長は令和6年2月22日（木）前回会議（第4回）の経緯より、江間委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）舞阪中学校いじめ防止基本方針について
- （3）休日の部活動の地域移行について
- （4）夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について

11 会議記録

司会の松下教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

中村校長から、別紙資料に基づき、学校運営の基本方針について次の説明があった。重点目標を、【課題対応能力・人間関係形成能力】の育成とし、生徒には【やってみよう・かかわろう】の言葉に置き換えて分かりやすく説明している。

今年度の学校経営重点4項目より、議長から、意見を挙げるよう提案があり、委員からは以下の発言があった。

- ・基本方針について賛成である。子供達が主体性を持って、仲間と自分を成長させる。まずは、やってみようという気持ちで更にもっといい方向になるといい。（鈴木委員）
- ・防災訓練は、中学生と協力してできることがあればやっていきたい。（河合委員）
- ・やってみよう、かかわろうの言葉は分かりやすくいいと感じた。職場体験についても、地域で協力できたらと思う。（片桐委員）
- ・タブレットのメリットは何か？（渡邊委員）
→・家庭学習の定着や習慣、紙の削減や手間を省ける。（中村校長）
・まずは、5分でも10分でもやってみる。取り組むきっかけになるようにしていきたい。

(中村校長)

- ・タブレットの持ち帰りについては評価できるが、行き帰りでタブレットが壊れたりなくしたり、荷物が増えて子供の負担になることが心配される。(小内委員)
- ・タブレットの持ち帰りや学習は高校で必須になる為、つなぎとしてタブレットの家庭学習を実施することは慣れる為にいいことだと思う。だが、学習は実際に書くことによって、覚えたり間違いが身に付いたりすると思うので、学習の差ができてしまうのではないかと心配。(鈴木委員)
- ・タブレットで家庭学習の答え合わせはどうやってやるのか。勉強はプロセスが大事になるのでフローチャートにした方がいいのではないかと。(渡邊委員)
→ソフトを使った問題で、タブレット上で答え合わせができ、学習にかかった時間まで先生が把握することができる。タブレット学習で、自分のレベルに合わせて進めることが理想だが、始めの段階として、全学年毎週水曜日にタブレットを使った家庭学習で、学習の定着を考えている。(中村校長)
- ・タブレット上で答えが分かってしまうのは、生徒の意識次第でただやれば良いと思って、しっかりと学習が身に付くのか心配である。(菅沼委員)
- ・以前までタブレットは反対だったが、大人の意識を変えて、タブレットやネット社会に慣れていかなければいけないと思った。(片桐委員)

協議の結果、中村校長の学校運営基本方針は、全員異議なくこれを承認した。

(2) 舞阪中学校いじめ防止基本方針について

大谷生徒指導主事から、別紙資料に基づき、舞阪中学校いじめ防止基本方針について説明があった。委員からの発言は以下の通りである。

- ・タブレットでのいじめアンケートは、家庭で周りを気にすることなく、回答することができるので、生徒にとってもいい事だと思う。(小内委員)
- ・現在、ネット社会になって、プライベートなことなど親の目の届かないことが多くなっているため、心配である。SNSで起きたことは、学校側で把握や解決をしてくれるのか。ネットの危険性を子供に伝えてもあまり響いていないので、講座などをやってほしい。(菅沼委員)
→SNSであっても、事実があれば解決に務めたい。ただし、SNSはプライベートで目が届きにくいので、当事者が勇気を出してしっかりと事実を伝えてほしい。講座については、道徳の時間にしっかりと考える時間を作り、生徒との信頼関係を築いて全力でサポートしていきたい。(大谷指導主事)
- ・いじめの把握はどうしているのか。名前までわかるのか。(鈴木委員)
→月に一回のアンケート、7月、10月、12月、3月の希望面談の実施、心のダイヤルカードで常にどの先生にも言える環境で、生徒本人の報告とアンケートで把握している。アンケートはタブレットで実施するので、名前まで知ることができ、早く解決に努めることができる。(大谷指導主事)
- ・当事者でなくても、気が付くことがあったら生徒も保護者も言いやすい環境を作ることが大

切だと思う。(片桐委員)

(3) 休日の部活動の地域移行について

中村校長から、別紙資料に基づき、休日の部活動について次の説明があった。委員からの発言は以下の通りである。

- ・回覧板で地域の方に周知してもらったり、協力を求めたりしても、休日の部活動は負担が大きいく指導者が集まらないと思うので、体育協会に協力を求めたほうがいいと思う。(小内委員)
- ・怪我などの責任はどうなるのか。親の負担もかかる土日に部活動をやる必要があるのか。部活動をやらないと非行に走るという発想をやめたほうがいい。休日の過ごし方を自分で考えることも必要である。(渡邊委員)
→これからの課題として、しっかりと話し合わなければいけない問題である。(中村校長)
- ・試合などの場合、学校側が引率をするのか、地域の指導者が連れていくのかなど、問題が出てくるのではないか。(片桐委員)

(4) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

松下教頭から、夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について説明があり、委員は全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

松下教頭から、以下の説明があった。

- ・次回の会議は、7月2日(火)午後2時から1階会議室で開催する。
- ・第2回の議長選出について、片桐委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。